

アスピラントガイドとは、なに？

AGS J 資格審査委員会
資格審査委員長 勝野惇司

ガイド資格の中で、アスピラントガイドとはこういった種類のものを理解していない方がおられるかもしれないので解り易く説明します。

当、日本アルパインガイド協会には、アルパイン・ガイドというオールマイティにガイド活動を行える資格がありますが、このアルパインガイドになるためには、以前は、ガイド養成学校で一年間の研修に合格すれば資格認定されました。

現在は、ガイド養成学校でアルパインガイドレベルのガイド研修をして合格になったら、アスピラントガイドになります。直接アルパインガイドになることは出来ません。その後、2年間～5年間のガイドとしての実務経験を行った後にアルパインガイドになっていくというものです。

フランスの例を挙げますと、ENSAで全課程のコースを修了しますと、アスピラントガイドの資格が与えられます。その後に2年から5年のガイドとしての実務経験をつんで、ギド・オートモンターニュ（高山ガイド、正ガイド）になっていきます。全く同様の課程をAGS Jでも導入したと言うことです。より、ガイドとしての能力を高めることと、国際機関との連携を考えたとき、この方式が協会にどうしても必要とされたことによります。

よって、ガイド養成学校に新たに入校された方は、アスピラントガイド、あるいはマウンテンガイドかの判定をされます。

いままで、マウンテンガイドでアルパインガイドを目指される方は、既得権として本人の意思により1回のみアスピラントガイドになることが出来ます。しかし今後は、アスピラントガイドとして合格していないとアルパインガイドへの道はありません。

また、現在のアルパインガイドもガイド資格の更新研修を行ってそのレベルを維持するとともに確実にその標準化をおこなっていくよう資格審査委員会が準備しているところです。

以上の趣旨をよく理解されて、今年度にマウンテンガイドからアスピラントガイドになることを意思表示される方はご決定下さい。アスピラントガイドの研修はマウンテンガイドレベルで行う研修ではありません。アルパインガイドレベルの研修となりますことも理解していなくてははいけません。

以上